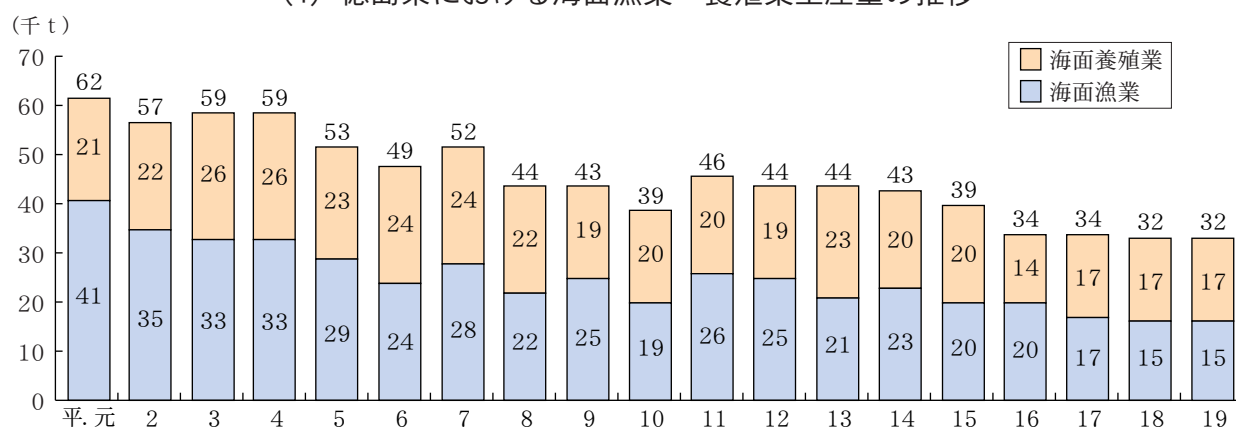


IV 水 産 業

漁場環境・資源状況の悪化など水産業を取り巻く状況が変化する中で、「21世紀初頭の徳島県農林水産業・農山漁村振興行動計画」に基づき、本県の豊かな自然環境を活かした強い水産業を育成するため、①漁家経営の安定と担い手の育成、②漁業団体の育成・強化、③漁港・海岸と漁場の整備、④適切な資源の管理と利用、⑤海面養殖業の振興、⑥内水面漁業・養殖業の振興、⑦水産物流通・加工体制の充実、⑧漁場環境の監視と保全、⑨効率的な漁場利用の推進を主要施策として各種事業に取り組んでいる。

1 海面漁業

(1) 徳島県における海面漁業・養殖業生産量の推移

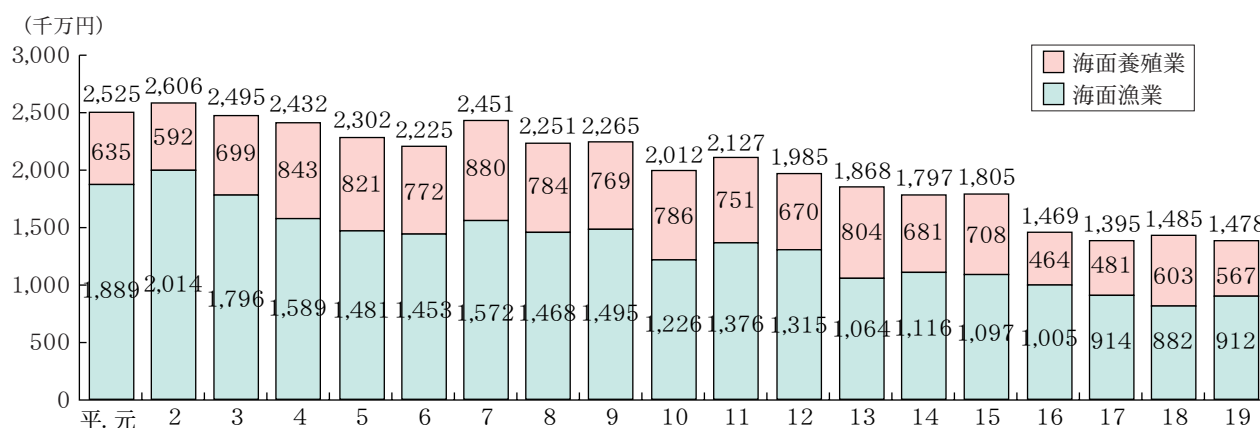


資料：農林水産省「海面漁業生産統計調査」平成15年から、すじ青のりを含まない

海面漁業・養殖業生産量は、3万1,816 tで、ほぼ前年並みとなった。

内訳をみると、海面漁業の漁獲量が140 t (0.9%)の減、海面養殖業の収穫量が36 t (0.2%)の増となった。

(2) 徳島県における海面漁業・養殖業生産額の推移

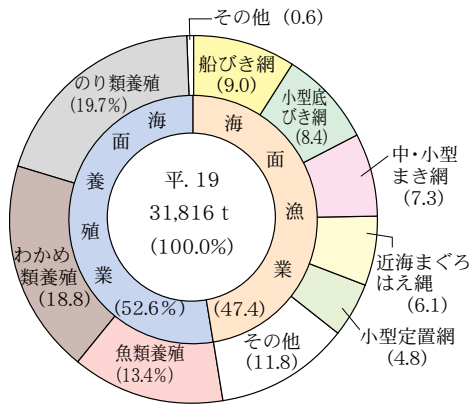


資料：農林水産省「漁業生産額取りまとめ」平成15年から、すじ青のりを含まない

海面漁業・養殖業生産額は147億8,300万円で、前年に比べ6,500万円 (0.4%)減少した。

内訳をみると、海面漁業が2億9,400万円 (3.3%)の増、海面養殖業は3億5,900万円 (6.0%)の減となった。

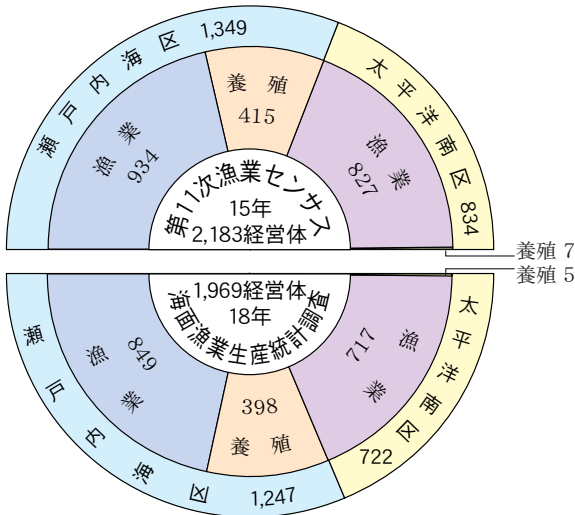
(3) 海面漁業・養殖業の漁業種類別漁獲量及び収獲量割合



資料：農林水産省「海面漁業生産統計調査」

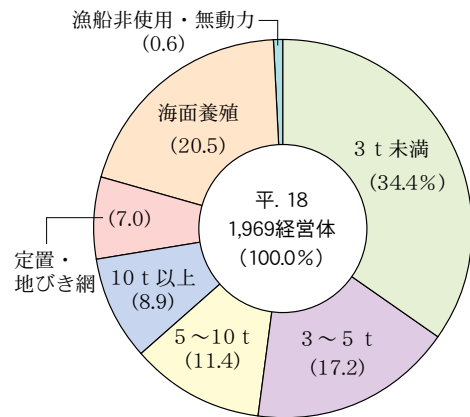
2 海面漁業の生産構造

(1) 海区域別経営体数



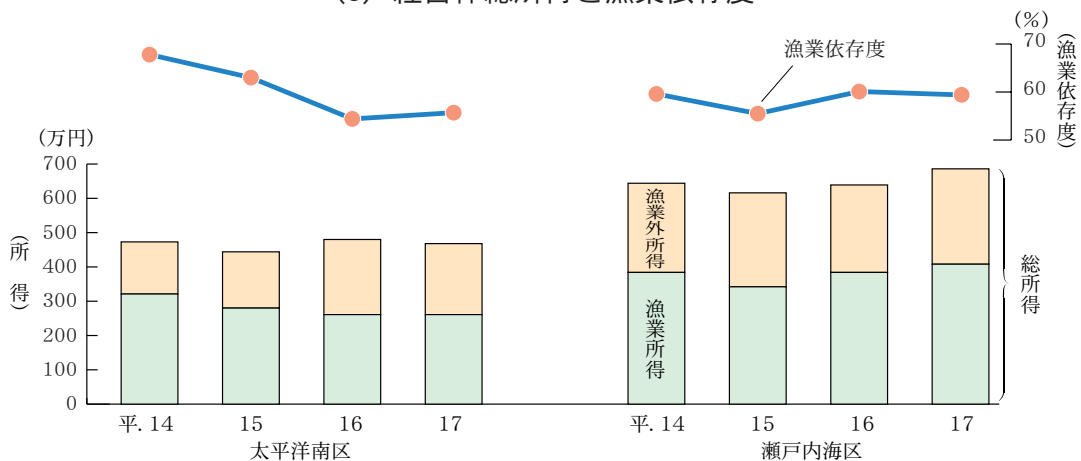
資料：農林水産省「漁業センサス」「海面漁業生産統計調査」
主とする経営体

(2) 経営体階層別経営体数の構成割合



資料：農林水産省「海面漁業生産統計調査」

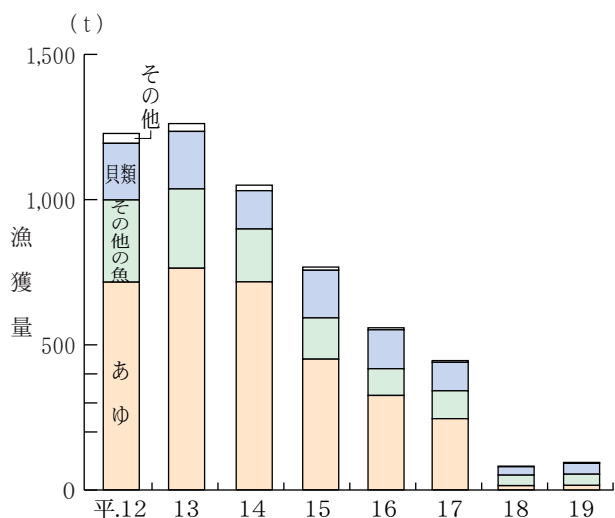
(3) 経営体総所得と漁業依存度



資料：農林水産省「漁業経営調査 (家族型経営調査)」

3 内水面漁業の生産量

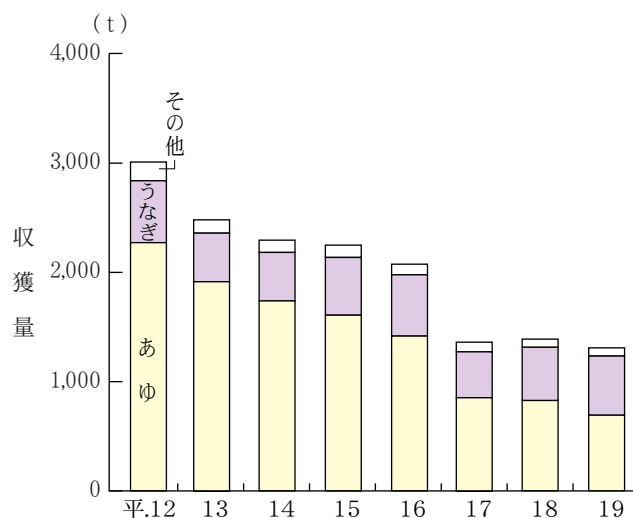
(1) 内水面漁業魚種別漁獲量



注：平成18年より、販売を目的とした漁獲量を計上した。

資料：農林水産省「内水面漁業生産統計調査」

(2) 内水面養殖業魚種別収穫量



資料：農林水産省「内水面漁業生産統計調査」

——あゆ養殖は全国第3位——

平成19年の販売を目的とした内水面漁業の漁獲量は83 t となった。魚種別にみると、あゆの漁獲量が16 t、うなぎの漁獲量が4 t となっている。また、平成19年の内水面養殖業の収穫量は1,234 t で、前年に比べ153 t (1.1%) 減少した。これを養殖種類別にみると、あゆ養殖の収穫量が64 t (7.7%) 減少、うなぎ養殖の収穫量が72 t (14.8%) 減少したためである。しかし、あゆが763 t で生産量全国第3位、うなぎが416 t で全国第7位と生産量は全国の上位にある。

4 全国から見た徳島の漁業

平成19年における主要魚種別漁獲量・収穫量と全国順位

順位	第3位	第6位	第7位	第8位	第9位	第10位
種類	わかめ類(養殖) あゆ(養殖)	たちうお あまだい類	うなぎ(養殖)	いせえび かんばち あわび類	ぶり(養殖)	むろあじ
徳島県 (t)	5 970 763	888 45	416	69 448 78	3 809	825
全国 (t)	54 249 5 807	17 877 1 565	22 644	1 300 50 125 2 063	104 912	25 652